

「つよスギ」フローリングの
床清掃・手入れの方法

後藤木材株式会社

岐阜県岐阜市大倉町 12

TEL.058-271-3000

FAX.058-271-3550

【販売代理店】

株式会社 こうけん

鹿児島市田上台 2 丁目 43 番 1 号

TEL.099-284-7073

FAX.099-284-7080

はじめに

「つよスギ」フローリング材は、「人にやさしい」天然ムク木材を使用しているため、吸水による膨張や腐朽により劣化する恐れがあります。長期的に本品の美観を保持するために、適正な清掃及びお手入れを行うことをお勧めいたします。

1. 「つよスギ」フローリングの維持管理

床の施工が完全なものであっても、その後の維持管理が不適當であればすべりや破損による怪我などを招き、大変危険です。次の点を守って床の維持管理をしてください。

- ・清潔であること
- ・破損箇所が放置されないこと

これらをいかに日常、そして長期に渡って維持していくかが、維持管理のすべてであるといえます。

2. お手入れ方法

床の清掃は**日常清掃**と**特別清掃**に大別されます。日常清掃は床表面のホコリ、ゴミ、汚れの除去が基本となり、なるべく毎日行うことが大切です。特別清掃は日常清掃だけではとれずに蓄積した汚れを除去するために行います。

汚れの程度によりますが、通常3～4ヶ月に1度行う必要があります。

本フローリングは天然ムク木材を使用しているため、いずれの場合も水拭き、水洗い、ブラシ掛け、電動ポリッシャーの使用は絶対に避けて下さい。

水拭きをしたりすると、フローリングに割れ・反り・突上げが発生する可能性があります。

2-1. 日常清掃

- ①化学モップを主体に砂、ホコリ、ゴミ等を集め、自由箒と塵取で除去するか電気掃除機で吸い取って下さい。
- ②局部的に強い汚れがある場合は、溶剤タイプのクリーナーによるモップ拭きも効果的です。この時、ホコリやゴミがあるままの状態だと、ぬれたホコリが床に付着して、かえって汚れがとれにくくなります。
- ③やむを得ず水拭きを行う場合は、必ず**固く絞った**雑巾等で汚れた部分のみ拭き取るようにして下さい。

〈自然塗料塗装の場合〉

自然塗料は、油成分の塗料ですので水分は多少ははじきますが、基本的には水分をきった状態でホコリを除去して下さい。小さなキズは紙ヤスリで擦り取った後に、市販の自然塗料（匠の塗油、オスモカラーなど）でコーティングすれば目立たなくなります。

〈ウレタン塗装の場合〉

表面の塗膜が剥れた場合、再度塗装し直す必要がありますので、速やかに専門業者に連絡して下さい。

2-2. 特別清掃

・定期清掃(通常 3~4 ヶ月に 1 度)

- ①日常清掃と同様に化学モップを主体に砂、ホコリ、ゴミ等を集め、自由箒と塵取で除去するか電気掃除機で吸い取って下さい。
- ②モップをコンディショナーやクリーナーで湿らせた状態でフロー全体を丁寧に拭いて下さい。絶対に水溶性のコンディショナーやクリーナーを使用しないで下さい。
- ③コンディショナーやクリーナーが完全に乾いてから必要に応じてワックス掛けをしますが、絶対にワックスは水性及び水溶性のタイプを使用しないで下さい。

〈自然塗料塗装の場合〉

ワックス掛けを行う場合、自然塗料用ワックス（匠の艶出し、オスモカラーなど）を塗布して下さい。1年に2,3回行うとよいでしょう。自然塗料には日焼けに対する薬剤は含んでおりません。あくまでも表面の摩耗を抑える為のものであるため、イスの下など摩耗の激しいところなどは頻りに塗布すると尚もちはよくなります。

〈ウレタン塗装の場合〉

ワックス掛けは、剥離材の混入したものは絶対に使わないで下さい。ハイテクフローリングコート（リンレイ製）という樹脂系のワックスを推奨しております。使用方法是メーカーの手順に従ってください。水で希釈するタイプですが、メーカー施工要領では表面に薄く塗布するものであり木質フローリングでも対応可能です。また、通常のビルメンテナンスワックスと異なり、表面塗膜の剥離作業が必要ありません。

- ・チューインガムが付着した場合、塗装面に傷がつかないように、まずパテナイフのようなもので取り除きます。残った汚れは市販されているスプレークリーナー等で完全に除去します。
- ・ジュース、血液、の汚れが付着した場合には速やかに拭き取って下さい。
- ・インクによる汚れは市販のスプレークリーナー等の洗剤で拭き取れます。
- ・以上の他にも、特殊な汚れが生じることがあります。問題箇所が部分的で小規模な場合は全面的にならないうちに措置して下さい。清掃法がわからない場合や、問題が全面的、又は項目が重複している時は安全対策をとった上、速やかに専門業者に連絡して下さい。

3. 保護管理

- ・土砂や、靴底についたワックス類の浸入を防止するため、屋外に面した出入り口には靴

拭き用のマットを設置し土砂などの除去が出来るように工夫をして下さい。

- ・室内に持ち込まれる机、イス等の脚には軟らかいカバーをかぶせて下さい。
- ・ヤニが発生した場合…
 - 天然スギ材には、中にヤニを含んだ材があります。出荷時に検査はしておりますが、製品の中には施工後にヤニが発生する場合があります。対処方法としては、市販のアルコールで拭き取る方法が、フローリングを傷めずにヤニを除去できます。
 - ①市販のアルコールをウエスに染み込ませる。
 - ②染み込ませたウエスで、ヤニの出ている部分を湿らせて、ヤニを擦り取る。
- ・床下の点検
 - ①床下の通風が充分行われるよう、換気口の目づまりがある場合は除去して下さい。
 - ②床下に水がたまっている場合は、速やかに除去し乾燥させて下さい。
 - ③床下点検口を時々開けて、カビ臭いかどうか点検します。カビ臭い時には、強制的に換気して、床下を速やかに乾燥させます。
- ・水分は床板の含水率を高め、床の変形や腐食の原因になります。便所、シャワー室等からの水分の持込みを防止するためには、各出入り口に靴拭きマットを敷くことが効果的です。
- ・虫害があらわれた場合には、速やかに専門業者に相談して防虫処理をして下さい。
- ・床に接する空気の温度、湿度が床の温度に比べて相対的に高いときには結露が発生します。結露は床板等の含水率を高め、床の変形や腐朽の原因になることがあります。春先や梅雨時に発生しやすくなりますが、立地条件や施工方法にも左右されるため防止法は異なります。結露が発生しやすい箇所については専門家と相談し、対策を用意しておくことをお勧めします。
- ・洋傘や、先のとがった器物を持ち込むと床損傷の原因となるので、持ち込まないように注意して下さい。
- ・ピアノのような重量物を移動する時には、合板等で床面を保護して下さい。また、重量物を設定する場所にも合板等で保護して下さい。
- ・フロー表面に傷が付いて木部が見える場合、傷が小さければ、市販のウッドパテ等で補修して下さい。傷が大きい場合は全面的な補修が必要なため、専門家の判断に従って下さい。

- ・使用上の注意事項を箇条書きにして提示することや、邪魔にならない場所へクズ入れを設置することも保護管理上望まれます。